

令和8年度くらしふと信州コーディネート推進業務  
プロポーザル評価会議評価書

審査項目	配点	審査内容 (要求内容)	株式会社ふるしきや					A社					B社								
			委員①	委員②	委員③	委員④	委員⑤	委員会平均	委員①	委員②	委員③	委員④	委員⑤	委員会平均	委員①	委員②	委員③	委員④	委員⑤	委員会平均	
提案内容	全般	10	・本業務の目的及び内容等を十分に理解しているか ・仕様書を踏まえ、明確かつ具体的な提案がなされているか ・長野県ゼロカーボン戦略や本県の脱炭素関連施策を十分に理解しているか	10	8	10	10	10	9.6	10	8	10	8	8	8.8	8	6	10	6	6	7.2
	くらしふとmeetup!の企画・運営	20	・テーマやターゲット設定が県内外の関心又は県内の需要を的確に捉えたものであるか ・民間の知見・人脈を活用したものであるか ・集客方法が明確で効果的なものであるか ・コーディネーターは、イベントごとに、テーマに適した者であるか ・相談対応後のフォローアップの方法が具体的で実現可能なものであるか ・各回の開催時期が適切であるか	16	16	16	16	16	16.0	16	16	12	12	12	13.6	16	12	12	16	8	12.8
	脱炭素共創ピッチの企画・運営	20	・テーマやターゲット設定が県内外の関心又は県内の需要を的確に捉えたものであるか ・民間の知見・人脈を活用したものであるか ・集客方法が明確で効果的なものであるか ・コーディネーターは、イベントごとに、テーマに適した者であるか ・相談対応後のフォローアップの方法が具体的で実現可能なものであるか ・各回の開催時期が適切であるか	12	16	16	16	12	14.4	12	16	12	12	12	12.8	12	12	12	12	12	12.0
	県民・事業者等からの相談対応	15	・相談があった際に迅速に初動対応できる連絡体制を確保しているか ・相談への対応体制が提案者自身の実績及び民間の知見・人脈を活用したものであるか ・相談内容に応じて適切な関係者へつなぐネットワークを有しているか ・相談会の開催方法や周知方法が県内の需要に的確に対応したものであるか ・相談内容の類型化や相談対応の標準化の作業過程が具体的であるか	9	12	9	9	9	9.6	12	12	12	12	9	11.4	9	9	9	9	9	9.0
	くらしふと信州の総合コーディネートの提案	15	・提案の検討過程が具体的で実現可能であるか ・チーフコーディネーターは、共創に関する豊富な実績や高度な専門性を有した人物であり、従事する時間を十分に確保できる見込みのある者であるか	15	12	12	12	12	12.6	9	9	12	9	9	9.6	9	12	9	9	9	9.6
	業務の経験、実施体制及びスケジュール	10	・類似業務の履行実績などから、各業務の運営を円滑に行うことが期待できるか ・運営スタッフの配置や業務管理の体制が適切であるか ・事業計画が明確であり、確実な実施が可能であるか	8	8	8	8	6	7.6	6	6	6	6	4	5.6	6	8	6	8	6	6.8
業務に要する経費	費用対効果	10	・業務内容に対して必要な経費が適切に見積もられ、事業内容や効果等から見て適切な範囲内であるとともに、県の予算の範囲内であるか	6	6	10	6	6	6.8	6	6	10	6	6	6.8	6	6	10	6	6	6.8
合計	100	評価点計	76	78	81	77	71	76.6	71	73	74	65	60	68.6	66	65	68	66	56	64.2	
		各審査委員順位	1	1	1	1	1		2	2	2	3	2		3	3	3	2	3		
		各審査委員順位点	5	5	5	5	5	25	3	3	3	1	3	13	1	1	1	3	1	7	
		順位	1						2						3						